

多文化ソーシャルワーク 実践講座

2021年10月2日～2022年1月30日

オンライン開催 (全5回)

外国人住民（移民）の定住化が進む中、ますます必要性が増す多文化ソーシャルワークの基礎を学ぶことを目的とした実践講座を開催します。多様化・複雑化する生活課題にどのように対応するのか、多様な連携や支え合いの可能性について一緒に話し合い、考えてみませんか。「カルチュラル・コンピテンス※」を柱に「コミュニケーション・スキル」「通訳を介した面接技法」「やさしい日本語」といったテーマを取り上げます。講義やグループワーク、多様なゲストをお招きしての演習を行ない、多文化ソーシャルワークの実践力を高めていきましょう。

※カルチュラル・コンピテンス (多文化対応力)とは・・・人々の思考、行動、活動、ライフスタイルに影響を及ぼす文化的背景に対する感受性を高めるのと同時に、自らの文化には謙虚となり、民族的・宗教的・身体的・精神的・性的多様性を尊重し、また抑圧されている人々を擁護し、エンパワメントのための実践を行うことです。

【参加費】 5,000円 (全5回分)

※受講決定後、指定の口座への振込をお願いします

【定員】 35名(先着順)

【対象】 外国人住民に対する相談・支援の経験のある方、
または関心のある方

※原則全回参加できる方。

※ソーシャルワーカーでなくても大丈夫です。

【お申込み・お問合せ】

kanagawatabunkasocialwork@gmail.com



※お申し込みの際は、件名に「実践講座参加申込」、メール本文に「お名前・ご所属・簡単な参加動機」をご記入ください。

※参加者には振込先及び当日の緊急連絡用電話番号を後日お知らせします。

※不測の事態によって、やむを得ず内容等が変更する可能性があります。

※本講座は R3 (2021)度横浜市多文化共生市民活動支援補助対象事業です。

【日程】 ※全オンライン開催。

第1回 10月2日(土) 10:00～15:00

第2回 11月6日(土) 10:00～15:00

第3回 12月4日(土) 10:00～15:00

第4回 1月16日(日) 10:00～15:00

第5回 1月30日(日) 10:00～15:00

※昼食と休憩の時間が適宜入ります。

※各回終了後、参加者同士の交流を目的とした「おしゃべりタイム」があります
(参加自由)

かながわ多文化ソーシャルワーク実践研究会

医療、福祉、子育て、教育、日本語、多言語対応等の分野でそれぞれの専門性を活かし、多文化ソーシャルワークの実践、普及、啓発を行いつつ、実践を通じて体系化を目指しています。

代表：大川 昭博(NPO 法人移住者と連帯する全国ネットワーク理事)

メンバー：岡田 澄恵(フリーランスソーシャルワーカー)・門 美由紀(東洋大学人間科学総合研究所客員研究員)・伊藤 正子(法政大学教授)・井出 みはる(医療ソーシャルワーカー)・富本 潤子(国際交流協会職員)



多文化ソーシャルワーク実践講座
2021年10月2日～2022年1月30日

【プログラム】

<第1回> 10月2日(土) 10:00～15:00	午前：「多文化ソーシャルワークを学ぶにあたって ー差別と抑圧の視点からー」	講師：大川昭博
	午後：「ソーシャルワークにおけるカルチュラル・コンピテンス ー多様性と差異への行動ー」	講師：伊藤正子
<第2回> 11月6日(土) 10:00～15:00	「自己紹介」	ファシリテーター : 研究会メンバー
	「コミュニケーション・スキルを学ぶ」	講師：岡田澄恵
<第3回> 12月4日(土) 10:00～15:00	午前・午後：講義・ワーク 「安心を伝える通訳を介した面接技法」	講師：井出みはる・富本潤子 ゲスト：多言語相談員、医療通訳の皆さん
<第4回> 1月16日(日) 10:00～15:00	午前・午後：講義・ワーク 「やさしい日本語でのコミュニケーション ー地域での出会いからつながりへ」	講師：村上まさみ（早稲田大学 日本語教育研究センター 非常勤講師）・門美由紀 ゲスト：外国につながる市民の皆さん
<第5回> 1月30日(日) 10:00～15:00	午前：カルチュラル・コンピテンスから自分の実践を振り返る	ファシリテーター : 研究会メンバー
	午後：クロージング	

【お申込み・お問合せ】 かながわ多文化ソーシャルワーク実践研究会

e-mail : kanagawatabunkasocialwork@gmail.com

